

会 議 記 録			
会 議 の 名 称	環 境 厚 生 常 任 委 員 会	会 議 場 所 第 1 委 員 会 室	
		担 当 職 員 山 末	
日 時	平成29年6月26日(月曜日)	開 議	午前 10 時 00 分
		閉 議	午前 10 時 35 分
出席委員	◎小川 ○富谷 酒井 平本 齊藤 菱田 小島 馬場		
理事者 出席者			
事務局	片岡事務局長、山末		
傍聴者	市民 0名	報道関係者 0名	議員0名

会 議 の 概 要

1 委員長報告の確認

[小川委員長 委員長報告朗読]

<小川委員長>

意見はあるか。

<酒井委員>

討論は全員賛成のため載せないという考え方か。

<小川委員長>

そうである。

<酒井委員>

B C o m e (びーかむ) について、出ていた意見を入れておいた方がよいのではないか。

<齊藤委員>

入れておいた方がよいと思う。議論したことが反映されていないことになる。

<小川委員長>

B C o m e (びーかむ) について、よい案はあるか。

<馬場委員>

「審査では、子育て世代包括支援センター業務に関して、当初NPO法人に業務委託していたものを直営方式により実施することとなりました。」というような内容はどうか。内紛のことはどこまで書けるのか難しい問題があるが、経過は入れておいた方がよいと思う。

<小川委員長>

「審査では、子育て世代包括支援センター業務に関して、当初NPO法人に業務委託していたものを本市直営方式により実施するため、既決予算の範囲内で組み換えを行うもの」を入れ、その次に「官民連携を生かすための人材育成を行うべきである、また、市が直接母子保健事業を実施するべきである等の意見が出されました。」という形でまとめればよいのか。

<齊藤委員>

要するに市が目指していたものが失敗したということである。失敗して戻したという事がこれではわからない。慎重にやっていくべきということを踏まえて文言を入れた方がよいのではないかと思います。だからといって公設民営を完全に諦めたという

ことではないので、それをどのように整理すればよいか。

<小川委員長>

衛生費の部分で、「子育て世代包括支援センター業務について、当初NPO法人に業務委託を行っていたものを本市直営方式により実施するため、母子保健事業経費を既決予算額の範囲内で組み換えを行うもの」として触れている。

<酒井委員>

出ていた意見としては属人的要素が最大の決め手になるようなプロポーザルは当初から疑問があったということと、地域資源が育っていない状況ではプロポーザルに拘泥すべきでないということである。今回の失敗を生かして今後は慎重に検討していただきたいという齊藤委員の意見もあったと思う。文言についても人材育成ではなく、地域資源の育成と表現されていたと思う。

<馬場委員>

酒井委員の意見のとおりでよいと思う。

<小島委員>

プロポーザル自体を否定するのではなく、当契約に関してということは入れなくてもよいのか。

<酒井委員>

プロポーザルについていろいろ意見は出たが、委員会で出た意見からもプロポーザル全体を否定していないことは明らかなので、今後慎重に検討していただきたいという内容で伝わるのではないかと思う。入れる場所は「審査の中で」の部分がよいと考える。

<菱田委員>

「審査では」の部分について、「子育て世代包括支援センター業務に関して、プロポーザル方式の利点を生かせなかったものの、今後は官民連携を生かし、地域資源の育成を行うべきである。」という内容でどうか。

<小川委員長>

「審査では、子育て世代包括支援センター業務に関して、プロポーザルの利点を生かせなかったものの、官民連携を生かし、地域資源の育成を行うべきである、また、市が直接母子保健事業を実施すべきである等の意見が出されました。」でどうか。

<酒井委員>

前回説明を受けた時に、抜けた方が団体をつくれればそこに委託するのかという疑問が委員からも出ていた。このようなことが問題だと思っていることをわかるようにするためにも「属人的な要素が最大の決め手となるようなプロポーザル方式には当初から疑問があった」「環境が整っていない状況でプロポーザル方式に拘泥すべきでない」ということは入れていただきたい。

<小川委員長>

文言を整理する。

<酒井委員>

再度読み上げる。「子育て世代包括支援センター業務に関して、属人的要素が最大の決め手になるような不透明なプロポーザルは当初から疑問があった、また、環境が整っていない状況ではプロポーザルに拘泥すべきではない、そして、今回プロポーザルの利点を生かせなかったものの、今後、官民連携を生かし、地域資源の育成を行うべきである等の意見が出されました。採決の結果は、全員をもって原案可決すべきものと決定しました。」となる。「生かせなかった」のあとに「生かし」という言葉が出てくるのがひっかかるが、意見をまとめるとこのような内容になる。

<小川委員長>

この文言を入れるということによいか。

<了>

<小川委員長>

正副委員長と事務局で再度整理するのでよろしくお願いしたい。

2 議会だより原稿について

<小川委員長>

意見はあるか。

<酒井委員>

委員長報告で検討したことが入れられるのが理想だと思う。委員の皆さんが視察レポートを削ってでも入れる価値があると思うのであればそうしていただきたい。この内容では全員が納得して賛成したように見えるがそうではなかったなので、そこが表現できればよいと思う。

<平本委員>

レポートを削ってもよいのではないか。

<小川委員長>

B C o m e（びーかむ）の部分の文言を整理し、レターボックスに入れたものを確認いただき、それで問題がなければ広報広聴会議に送付したいと思うがどうか。

<平本委員>

それでよいが、入れる文言の趣旨だけでもまとめておいてはどうか。

<菱田委員>

委員長報告の「審査では」の部分で出た意見が重点項目だと思うので、もう少し紙面を割いてこの部分を入れるように要望する。

<酒井委員>

視察レポートの「貧困家庭の事例が新聞に取り上げられたことをきっかけに」などの部分を削り、「今回プロポーザル方式の利点を生かせなかったものの、今後、官民連携を生かし」の部分を入れるとよいのではないか。「今回プロポーザル方式の利点を生かせなかったものの、この経験を踏まえて地域資源の育成を行うとともに民営化については慎重に検討すべきである等の意見が出されました。」という内容でよいと思う。

<小川委員長>

意見をまとめたものをレターボックスに入れさせていただく。主な質疑の部分や視察レポートも整理するのでご了承いただきたい。

3 その他

<小川委員長>

次回の委員会について7月14日（金）13：30～で調整していたが、同時刻に馬路町の地域こん談会が開催される。地域こん談会への参加を希望する委員がいなければこの日程のまま行いたいがどうか。

（意見なし）

<小川委員長>

それではこの日程でよろしくお願いする。

散会 ～10：35